

令和6年度（2024年度）教職員研修に係るアンケート結果の概要（教諭）

2025年3月 教職員育成課

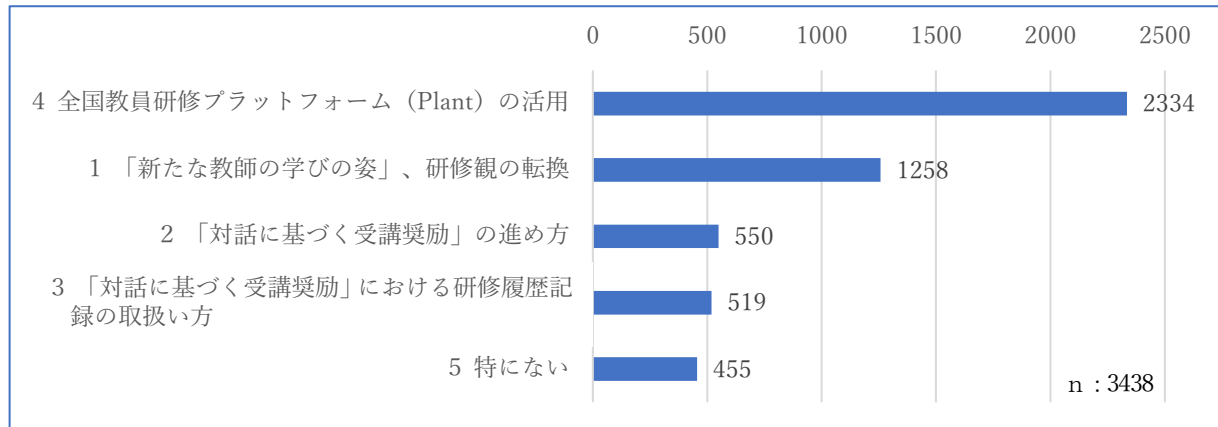
1 調査対象 道内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校（札幌市立を除く）の教諭（養護教諭、栄養教諭、講師の他、回答可能な職員を含む）（回答は任意）

2 回答数

研修担当	研修担当以外	計
792	2,646	3,438

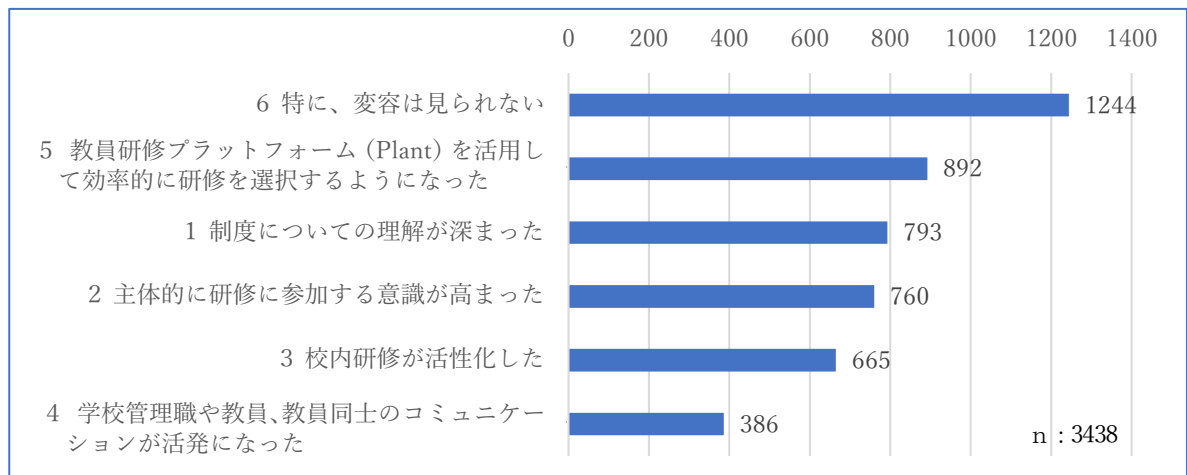
3 結果

問1 取組状況 あなたの学校では、「新たな研修制度」2年目に当たり、学校全体の共通理解が進んでいることは何ですか。（当てはまるものを全て選択）



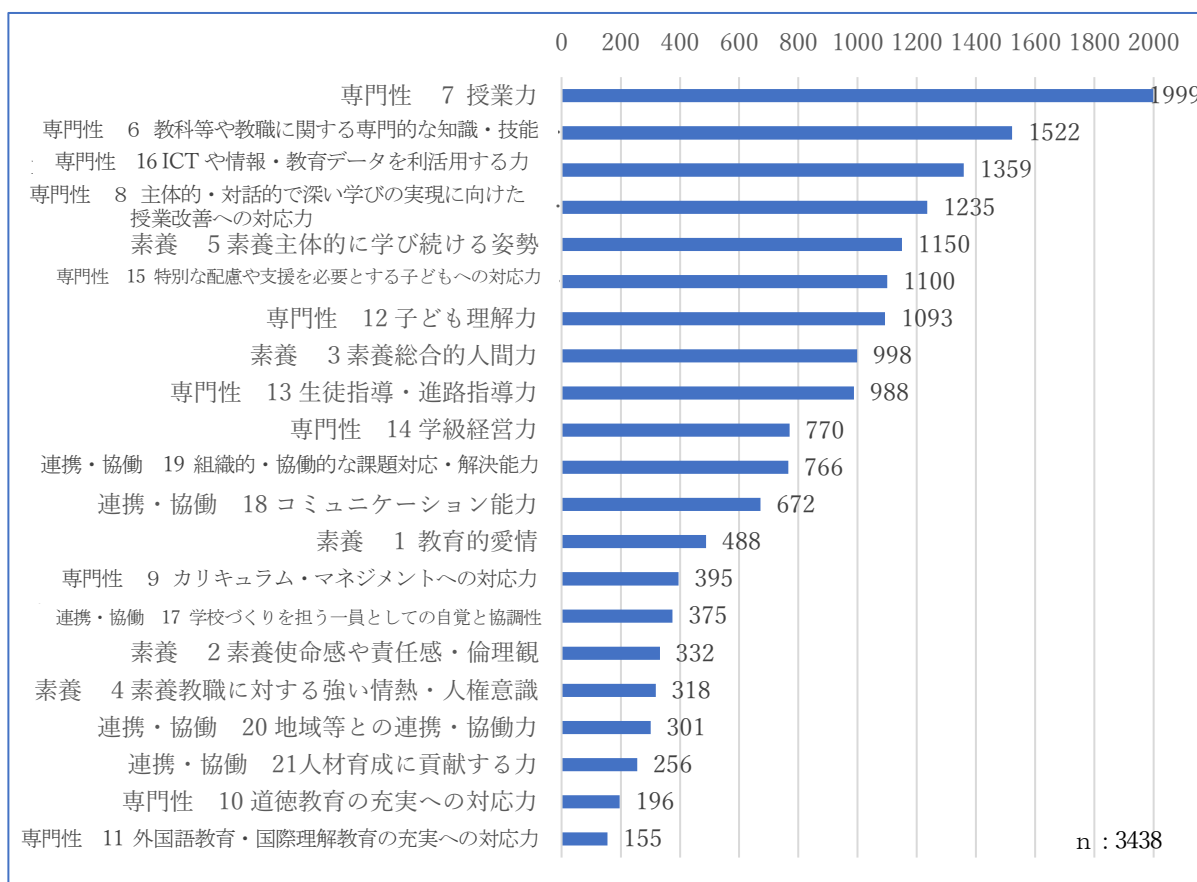
全国教員研修プラットフォーム（以下、Plant という）の活用が最も多く、次いで、「新たな教師の学びの姿」、研修観の転換が多い。

問2 取組上の成果 あなたの学校では、「新たな研修制度」2年目に当たり、どのような変容が見られましたか。（当てはまるものを全て選択可）



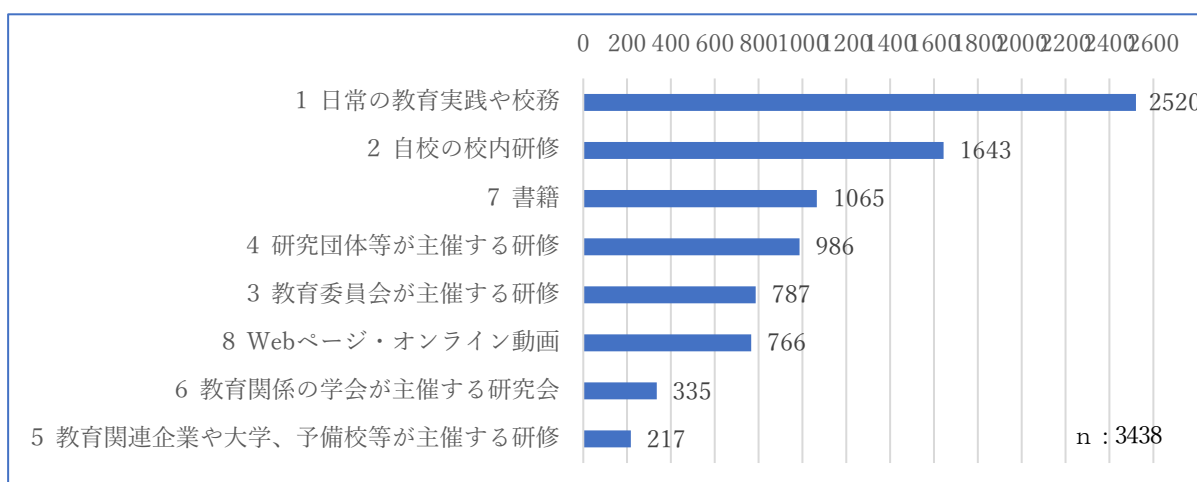
特に、変容は見られないが最も多く、次いで、Plant を活用した効率的な研修の選択や制度についての理解の深まりが多い。

問3 教員に求められる資質能力 今後、特にどのような資質能力を高めたいですか。(当てはまるものを6つまで選択可)



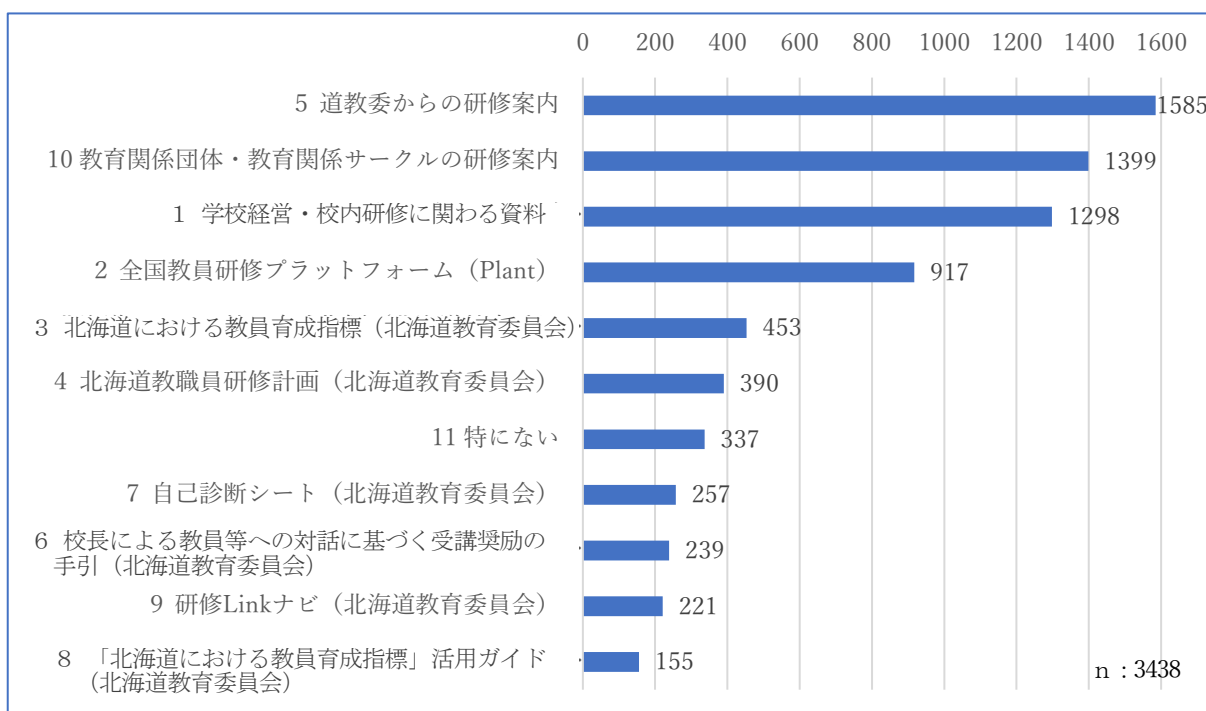
授業力も最も多く、次いで、教科等や教職に関する専門的な知識・技能、ICTや情報・教育データを利活用する力が多い。

問4 効果的・効率的な研修 自身の資質能力の向上に向けて、どのような学びの機会を重視していますか。(特に当てはまるものを3つまで選択可)



日常の教育実践や校務が最も多く、次いで、自校の校内研修や書籍が多い。

問5 学びの機会を検索・選択・受講する際に参考とする資料 自身の学びの機会を検索・選択・受講する際に、どのような資料を参考にしていますか。(当てはまるものを全て選択)



道教委からの研修案内が最も多く、次いで、教育関係団体・教育関係サークルの研修案内、学校経営・校内研修に関わる資料が多い。

問6 校内研修の活性化を図る際の工夫 あなたの学校では、校内研修の活性化を図る際に、どのような工夫をしていますか。(自由記述)

○ 主な記述内容

【テーマ】・教員が自ら課題を見つけ、主体的に参加できるような研修内容を設定している。
 ・研修内容は日常の授業や生徒指導に直結したものを取り扱い、実践的なスキルを高めることを目指している。
 ・教員のニーズに応じた研修テーマを設定している。

【方法】・教職員同士の対話を重視し、研修の中で出たアイデアや困難なことを共有し、解決策を話し合う時間を設ける。
 ・意見を出しやすいようグループでの協議や対話を重視している。
 ・ICTを活用し、研究授業の意見交換はリアルタイムで行い、意見交換の促進、効率的な振り返りができている。
 ・実践交流のためクラウドサービス（職員用チャット等）を活用している。
 ・教職員全員が講師となるミニ研修を行っている。

【環境】・時間の確保（効率的な業務分担により時間を作り、研修機会を増やしている。短時間でできる研修を意識している。）
 ・全員が参加しやすい雰囲気作りや、対話を重視した研修を実施している。
 ・研修日に限らず、日常的に対話や実践交流をしている。